宝物殿へ転移したアィンズの視界内に天空に浮かぶ全ての星々を集めたような燦然とした輝きが、 飛び込む。

仰ぎ見る天井の高さ、視界内に全てを収めることが難しいほどの壁の長さ。それほどまでに巨大な 部屋には、眩いまでの宝物が満ち満ちていたのだ。

中央には金貨や宝石が積み重なっており、それが山脈のように連なっている。枚数を数えてみよう という気にはヽこれっぽっちもならないほどの量だ。しかも金の山々に埋もれるように、超一級のエ 芸品の姿もある。

ぱっと見ただけでも、黄金で出来たマグヵップ、様々な種類の宝石をはめ込んだ王笏、白銀に輝 く獣の毛皮、金糸をふんだんに使った精巧なタペストリー、真珠色に輝く角笛、七色に輝く羽製の扇、 クリスタル製の水差し、かすかな光を放つ精巧すぎる指輪、黒色と白色の宝石をはめ込んだ何らかの 動物の皮で出来た仮面などが目に飛び込んできた。

無論、こんなものはほんの一握りだ。